

木質バイオマスエネルギーの利用状況

令和6年(2024年)8月現在

道内の主な利用施設と地域別利用量(令和5年度)

○FIT認定の発電施設や熱利用施設が増加しており、令和5年度末現在で184施設が稼働している。



利用施設等の現況(令和5年度)

○木質バイオマスを利用した設備を有する施設

区分	施設数
FIT認定発電施設	16施設
熱電併用施設	7施設
熱利用施設(木材チップ・薪ボイラー)	102施設
熱利用施設(木質ペレットボイラー)	59施設
合計	184施設

○木質バイオマスの利用実績があった設備

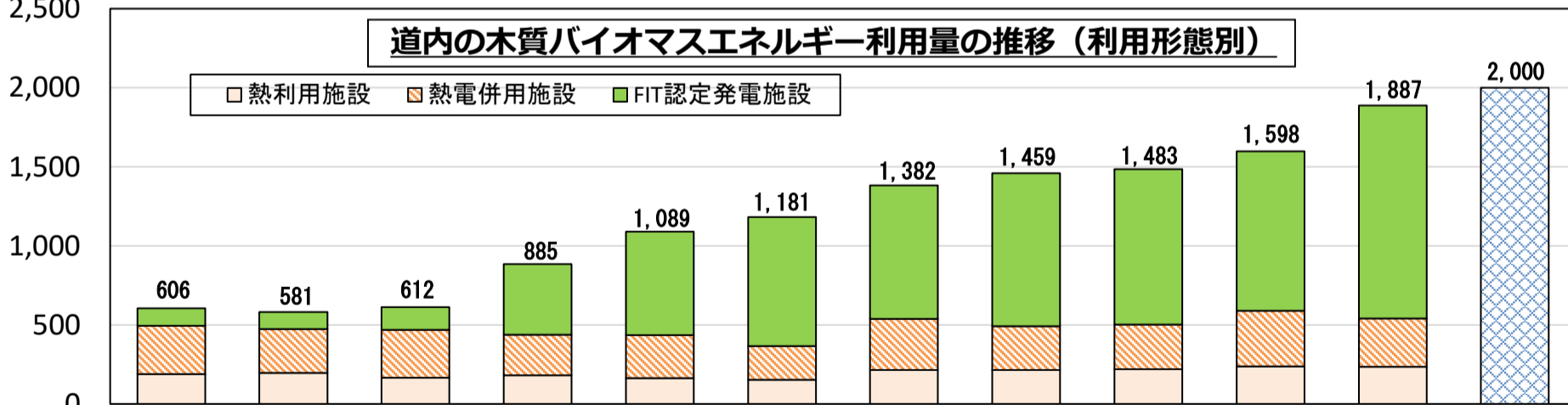
設備の種類	設備数
発電機	52基
木くず焚ボイラー	132基
木質ペレットボイラー	60基

注)木くず焚ボイラー・ペレットボイラーとも、発電利用目的のボイラーの数を含む。(木くず焚ボイラー=木材チップ・薪等を燃料とするボイラー)

木質バイオマスの由来別・利用形態別利用量の推移

○平成28年以降FIT認定発電施設の稼働が進み、エネルギー利用量は平成28年度の89万m³から令和5年度は189万m³と大きく増加している。

(千 m³)



区分	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)	R13目標(2031)
合計	606	581	612	885	1,089	1,181	1,382	1,459	1,483	1,598	1,887	2,000
利用形態別	FIT発電施設	111	107	144	448	653	814	844	967	981	1,008	1,347
	熱電併用	307	278	301	255	273	214	324	278	282	353	304
	熱利用	188	196	167	182	163	153	214	214	221	237	236
由来別	未利用材(※)	96	81	123	442	701	795	850	979	1,029	1,085	1,370
	建設発生木材	238	245	264	224	166	169	215	213	175	232	208
	製材工場端材	272	255	225	219	222	217	317	267	279	281	310

※未利用材:間伐材、主伐材、除伐材及び林地残材等が由来のもの

(北海道水産林務部林務局林業木材課調べ)